

(5)

ワタライナト於てトイッ軍捕虜になった日本人関係

REEL No. A-1062

條約第二課長(中)

政務局第...

機密第 七 號

昭和十九年四月一日

在ケイニスベルグ

總領事代理

織田 寅之助



外務大臣 廣光 葵 殿

ウクライナに於て他逸軍捕虜ナリシ日本人、身元調査依頼ノ件
 昭和十七年六月他逸軍捕虜者局カ者第ニ引渡セル高島ヨシヅナル
 者ニ関シテ、今年七月七日附在他大使宛私信機密第 六 號ヲ以
 テ報告致シ置キタルが其後今人ハ引続キ当地「シ」ハウ工場ニ勤務シ
 居リ南東ニケ年亦官ニ於テ視レク今人ヲ保護シ其行動ヲ注視シ
 来レル歟今人ハ性質豪直ニシテ日本人トシテ、体面ヲ顧慮シ、行動

在ケイニスベルグ日本總領事館

二 19. 6. 23 受付

昭和十九年六月拾七日接受

政 19. 6. 19 四

(副本)

福岡

シ居ルヤニ見受ケラレ勤務工場ニ於テモ厚遇サレ居リ戦後ハ帰朝シ
 定職ヲ得度キ希望ヲ有シ居ル次第ナリ

然ルニ今人、身元ニ関シテ、前記在他大使宛機密第 六 號ノ如ク
 確實ニ判明セズ者館トシテモ今人ニシテ規、旅費カヲ差給シ得ル者、
 情ナルが目下戦時中ニシテモアリ他逸官憲モ今人、身分取扱上禮
 ノ不便ト困難ヲ感シ居リ、本人、生活上ニモ亦禮々ノ不便生シ居ル為
 出来得ベク、此際身元ヲ取調ベ之ガ判明ヲ俟ツテ、現狀差カヲ
 差給致度キ意向ナリ 就希

一、今人、身元ニ関スル本人供述(前記在他大使宛機密第 六 號
 中)ノ如ク、大正八年横濱ニテ出生セルモトセバ、或ハ戸籍判明スルカ
 ヲ存ゼラレ、歟、関東大震災ニ因リ、横濱市、戸籍原簿焼失シ
 ヲルヤモ、承知シ居リ、亦件調査モ不可能ナルヤモ計ラレタルニ、一、
 者該官廳ヲ通ジ、右身元調査方相煩シ度ク

在ケイニスベルグ日本總領事館

ニ又企人供述ニモアル如ク大正十年岡親下共ニ入露セルモトセバ此
方面より調査ニ可能ナルヤニ被存ルニ件可知ナリ調査相頑渡ノ
若シ判明セバ入露ノ経緯ニ参考ニ得而取知致シ復シ
右御取調ノ結果何人ノ候電報ニテ仰同報相頑渡ク若シ身
元判明セバ入露ノ経緯ニ参考ニ得而取知致シ復シ
右御依頼申進ス

在りて日本總領事館

機密第六號

昭和十七年七月七日

在ケーニヒスベルグ

總領事館事務代理 織田富之助

在德

特命全權大使 大島浩殿

ウツライニ於テ独逸軍ノ捕虜トナリタル日本人ニ関スル件

去ル六月二十五日一独逸下士官ハ一若ク日本人ヲ引連レテ者館ニ出頭シ
昨年九月独逸軍ウツライニ進撃ノ際「左ルニ」(「ギエ」北方)ノ刑務所
ニ於テ今人ヲ発見シ捕虜トシテ一徳旧被虜領内「コウエル」ニ收容セル
カ取調ノ結果日本人トシテ及神獸園島ナルコト判明セルヲ以テ者館ニ引
渡スコトナリタル趣ヲ述ベ別添申 附字ノ如キ書面ヲ添ヘ今人

在ケーニヒスベルグ日本公使館

ナ

身柄引取方依頼ヤ

依而亦官ハ今人ニ種々訊問シ其供述ニ依レバ

(一)姓名ハ高島ヨグヅ(今人ノ幼時ノ記憶ヲ辿ラシタルニ或ハ「ヨゴ」ナル

ヤトモ申シ居リ)父ハ高島ナハラ(「ナハロー」カトモ申シ居リ)母ハ

イセカハ「ミ」ト称シ大正八年(一九一九年)十二月十七日横濱

ニ於テ出生

(二)大正十年(一九二一年)日本軍西比利亞撤兵時父ハ家持ト共

ニ「イルク」トクニ赴キ「達藤」ノ「バイカル」灣岸ニ後幸シ其後ニ引

続キ全地ニ居住セルガ昭和十年(一九三五年)父ハ逮捕セラレ(親日

態度ガ禍ヲモト申シ居ルモ詳シキ逮捕ノ理由ハ今人ニ承知セズ)次

テ昭和十二年(一九三七年)母亦逮捕セラレ夫々中央露西亞ニ移サレ

南米香トシテ消息ナキ由

(三)今人ハ「イルク」トクノ國長少學校卒業後昭和八年(一九三三年)全地

在ケーニヒスベルグ日本公使館事務

國立大學に入學セルモ父ノ入獄後單身「カカシ」ニ移リ全地國立
大學で墮落子部に入學勲學中昭和十五年(一九四〇年)逮捕
セラレタリ

(四) 本人ハ「カカシ」ニ於テ反共産主義ノ團體ヲ專横長族援助會
ニ入りタルガ日徳併防共産主義者時右團體が反共宣傳ヲ
ナレタル為ノ當局ノ監視ヲ受ケ團員多ク逮捕セラレ本人モ昭和
十五年遂ニ逮捕セラレ「カカシ」革命裁判ニ依リ八年ノ禁錮ニ処セラ
レ全地刑務所ニ收容セラレタル由

(五) 其後「カカシ」刑務所ニ移サレ服役中昭和十六年(一九四一年)
九月十日徳逸軍全地ヲ占領セル際捕虜トシテ「コカシ」ニ送ラレ
徳逸軍隊ニ使役セラレ中央カカシ人ヲ射テケルニシテ送致セラレ
供述機要右ノ通りナル如ク身元ヲ示シス(キ確證自ラル資料モナキ
上人ハ日亦湯ヲ全然解セズ) 幼少ニテ入路セル為ニ「カカシ」ニ居

在「カカシ」ニ在リタル「カカシ」日本公使館

ルモ十五才迄日本人名両親ノ膝下ニ育ケタルモトセバ此其諒解ニ當リシム
所ナリ) 全人供述ニ遠ニ信ジ得ルハ初少ク共産主義的教育ヲ受ケ来
リタル者ナルヲ以テ全人ノ取扱ニ慎重ヲ慮シタルニ由リ徳逸軍當局ガ
「カカシ」刑務所内ノ書類ニ依リ日本人タルヲ確カメ其籍ニ引渡
セルヲ(口) 姓名其他ノ申立ヲ容認スルニキ根據モナキ止全人ノ容
ニ格別不審ノ具モナク宿性温順ナルヲ見受ケラルヲ以テ不取敢
者領ニ於テ全人ヲ引取り別紙ニ籍字ノ如キ証明書ヲ交付シ其地ニ於
テ職業ヲ得サシムルヲセリ

其後當地労働局トモ相談ノ上種々奔走ノ結果當地「カカシ」(Schickan)
船舶橋梁工場ニシテ佳ハルノ下リ全工場合宿所ニ配賦シ其月(日)
就業中ナリ

右申参事追ニ報告ス

(右信事送件先 外務大臣)

在「カカシ」ニ在リタル「カカシ」日本公使館

「ヨグツ」ナル者ヲ在「ケ」ニヒスベルグ(独逸)帝也總領
 事館ニ引渡シタル処同館ニ於テハ同人ノ身元判
 明セサル為取扱上禱々不便ヲ生シ居ル趣ニテ今
 般右調査方同館ヨリ申越ノ次第アリ
 証ノ通總領事館ニ於テ記録シタル趣高島
 某ノ供述ヲ以テ參照ノ上至急何令ノ儀ヲ申進ス
 相預交在ハ段々依頼申進ス

公 信 案

外 務 省

(日本標準規格 B5)

發信用 執務用		主 信		主 信		主 信		主 信		主 信	
附 甲		附 乙		附 丙		附 丁		備 考		備 考	
附 甲		附 乙		附 丙		附 丁		備 考		備 考	
附 乙		附 丙		附 丁		備 考		備 考		備 考	
附 丙		附 丁		備 考		備 考		備 考		備 考	
附 丁		備 考		備 考		備 考		備 考		備 考	
備 考		備 考		備 考		備 考		備 考		備 考	

題 案

文書課發送日 昭和拾九年六月廿四日發送済 淨書 正校(原稿) 昭和十九年六月廿四日附 附屬 ナシ

主 管 條 約 局長 了 條 約 局長 第三課長 代 昭和十九年六月廿四日附 附屬 ナシ

受 信 人 名 神 奈 川 縣 知 事 小 務 次 官 條 約 局長

先 付 送 寫 名 件 獨 逸 軍 捕 虜 ト ナ リ タ ル 日 本 人 ノ 身 元 調 査 関 係 件

昭 和 十 七 年 六 月 獨 逸 軍 當 局 カ 獨 軍 ノ ウ ケ イ ナ

進 敷 事 際 同 地 ニ 捕 虜 ト 為 シ タ ル 日 本 人 高 島

公 信 案 外 務 省

(日本標準規格 B5) 24 40

19.6.24 交付

公
信
案

外
務
省

(日本標準規格 B5)

和十年父逮捕セラレ次テ昭和十二年母亦逮捕セ
ラレ夫々中央露路西進ニ移サレ其ノ後消息ナシ

公
信
案

外
務
省

(日本標準規格 B5)

一、本人ハ大正四年十二月十七日横濱ニ於テ出生、尚
同人幼時ノ記憶(同人ハ幼カニシテ入露シタル日
本語ヲ解セス)ハ其ノ名ヲ「ヨゴゾ」ハ父ハ高島
「ナハラ」「ナハロ」トモテヘリ)母ハ「イセガハ」「ミハト」ト
稱セリ

二、大正十年日本軍西比利亞撤兵當時父ハ家族
ト共ニ「クルク」ツクニ赴キ「進藤」ノ「バイカル」漁業
ニ従フシ其ノ後モ引続キ同地ニ居住セルカ昭

條約局第二課 條約局第二課長

昭和拾九年八月廿五日

外秘收第五二七一號

昭和十九年八月六日

福岡

神奈川縣知事 藤原孝夫

外務次官 殿

獨逸人ノ捕虜トナリタル日本人身元調ニ
關スル件回報

本年六月二十四日付條普通第八七八號ヲ以テ依頼ニ係ル標記ノ件ニ關シ本
縣海外渡航許可關係記録其ノ他ニ付調査スルモ該當者ト認めラレ、モ、無
之條條此段及回報條也

神奈川縣

19.8.15 受付

甲
号

Dienststelle Feldpostnummer 05 575 O.U., den 23. Juni 1942
An das Japanische Konsulat Königsberg i/Pr.

Der japanische Staatsangehörige Jouguzu TAKASIMA wird mit
Entlassungsurkunde durch den Unteroffizier Drabinski von der
Einheit 05 575 zur weiteren Verwendung Übergeben. Er war bisher
in deutscher Kriegsgefangenschaft.

Hierunter seine Personalien:

Name:	Takasima
Vorname:	Jouguzu
Geburtstag u. Ort:	17. 12. 1919 Yokohama
Religion:	Buddism
Vorname d.Vaters:	Nachara
Familiennamen d.Mutter:	Isedsawa
Staatsangehörigkeit:	Japaner
Zivilberuf:	Lehrer
Gefangennahme:(Datum u.Ort)	10.9.1941 Tschernigow
Grösse:	1,72 m

/ Otto /
Major und Kommandant

2
号

Nr.97.

Königsberg Pr., den 25. Juni 1942.

PROVISORISCHER
AUSWEIS.

Der Inhaber dieses Ausweises wurde von den deutschen Truppen
am 10/9.1942 aus einem Sowiet-Gefängnis in Tschernigow befreit
und befand sich in dem Kriegsgefangenenlager Stalag Nr.301, von
wo er an das Kaiserlich Japanische Generalkonsulat, Königsberg Pr.,
Übergeben wurde. Nach seinen eigenen Angaben sind seine Personalien
die folgenden:

Name:	Takasima
Vorname:	Jouguzu
Geburtstag u. Ort:	17.12.1919 Yokohama /Japan/
Religion:	Buddist
Vorname des Vaters:	Nachara
Familiennamen der Mutter:	Isedsawa
Staatsangehörigkeit:	Japaner
Letzter Wohnort:	Kasan / UDSSR/
Beruf:	Student d.physisch-mathematischen Fakultät.

/ T. Oda /

Antierender Japanischer Generalkonsul
in Königsberg Pr.

Foto

(分類) A 7.0.0.8-16

電 信 案	電 送 第 一 10976 號	主 管	條 約 局 長 了
		主 任	條 約 局 第 三 課 長
外 務 省	附 送 件 名	宛 名	在 ケ ー ニ ヒ ス ベ ル グ 織 田 總 領 事 代 理
	記 録 件 名	發	重 光 大 臣
本 年 四 月 一 日 附 貴 機 密 ヲ 七 号 ニ 因 シ		第 一 一 號	代 昭 和 五 九 年 八 月 廿 八 日 起 草
高 島 甘 木 ノ 身 元 調 査 神 奈 川 縣 知 事 ニ 依		件 名	獨 逸 人 ノ 捕 虜 ト ナ リ タ ル 日 本 人 身 元 調 査 ニ 関 ス ル 件 由 報
賴 シ タ ル 知 今 般 同 知 事 ヨ リ 調 査 ノ 結 果		電 信 課 長	發 電 係

電信課長

發電係

昭和五九年八月廿八日

條二 19.8.19 受付

(日本標準規格Bの)

REEL No. A-1062

アジア歴史資料センター

電信案

該
當
者
各
手
と
日
回
答
ア
リ
タ
リ

外務省

(日本標準規格 B 5)

REEL No. A-1062

アジア歴史資料センター